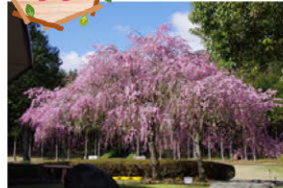


マップ

子どもと楽しむ
県民の森へ
出かけよう!

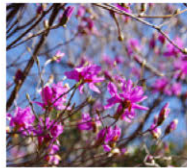
春 「芝生広場」でお花見

自然学習展示館裏には6種類の桜が植えられています。「芝生広場」にシートを敷いてお花見ピクニックがおすすめです。種類によって咲く時期が違うので、早くて3月終わり頃～4月いっぱいまで色々な桜の花が長く楽しめます。



ヤエベニシダレ

園内で楽しめる春の花



コバノミツバツツジ



シデコブシ



ショウジョウバカマ



アセビ

夏 「あさけの流れ」で水遊び

トンボ池からちびっこ広場まで続く「あさけの流れ」。朝明川からの湧き水で冷たくて気持ちよく、小さい子どもが遊ぶのにちょうどいい浅さです。



「あさけの流れ」

「ちびっこ広場」で虫とり

「ちびっこ広場」周辺は、大人気の昆虫、カブトムシとクワガタが捕まえやすいスポットです。コナラの木などの樹液に集まります。他にもトンボやチョウなどのたくさんの昆虫にも出会えます。



カブトムシ



クワガタ



カワトンボのなかま



モンキアゲハ



トンボ池



冒険の森 アスレチックコース

17種類の
アスレチック遊具に
挑戦!



つどいの広場



ちびっこ広場

所長の川根さんが「子どもたちの能力を引き出すことがこの自然観察会の目的のひとつかな。」と話すように、大人だけでなく子どもたちがそれぞれに好きな分野で、自分が持っている知識を他の人に伝えられる場に行きたいと考えています。

観察しました。つどいの広場では子どもたちは網で、ウスバキトンボやトノサマバッタを捕まえました。園内には他にもいくつかの広場があり、こうした場所は小さな子どもでも虫とりがしやすい場所でもあります。チョウの幼虫が好む食草が多かったり、トンボが産卵する池や流れのある水路があったり、こうした多様な自然環境があるからこそさまざまな種類の昆虫がいるのです。県民の森には、普段からトンボやコケなどに詳しい子どもが来ていて、自然観察会はそのような子どもたちが主役となつて活躍できる場にもなっています。

毎月第二土曜日に開催している定例の自然観察会は、誰でも参加できる観察会です(現在は抽選)。まだ暑さの残る9月の観察会では、参加者のみなさんと「ふれあいの館」を発売して、「つどいの広場」↓「四季の森」の方へと入っていくコースで見つけたものを観察しました。

みんなが主役の 自然観察会

共催：三重県環境学習情報センター
自然観察指導員三重連絡会

2月・3月も開催します!
「自然観察会」

開催日：令和3年2月13日(土)
令和3年3月13日(土)

時間：9:30～11:30 ※雨天中止

場所：三重県民の森ふれあいの館集合
(9:15より受付)

定員：20名【抽選】

申込み：要事前申込み

各開催日の約1か月前より三重県民の森へメール、FAX、電話等でお申し込みください。

参加費：無料

マスクのご着用をお願いいたします

カマキリに寄生した ハリガネムシを見てみよう!



4



3

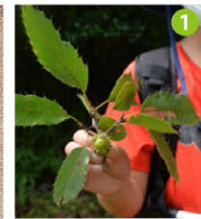
3 お腹が大きく膨らんだハラビロカマキリを見つけて、ある実験をしました。カマキリの腹の先を水につけると、そこからカマキリの体に寄生するハリガネムシが出てくる場合があります。今回、このカマキリは寄生されていないかどうかも出てきませんでした。ハリガネムシが出てこなくて参加者はがっかり!?

4 ハリガネムシは、一生のうちの一時期をカマキリやコオロギなどの昆虫に寄生して過ごす生き物です。

枝のついたどんぐりを 切り落としたのは、誰?



2



1

1 地面に枝のついたどんぐりが落ちていました。これはハイロチョッキリのしわざです。

2 どんぐりに卵を産むハイロチョッキリは、どんぐりに穴を開け産卵したあと、長い口を使って枝を切り落とします。枝の切り口を見るときれいに切れています。細い枝とはいえ、1cmほどの小さな虫が口で切るのは大変な仕事です!